

みどりと水のみちへ

～譲治がくれた〈いのち〉の感覚～



ノートルダム清心女子大学日本語日本文学科
「ツボジョーワールド探検隊」による
坪田譲治紹介冊子

目次

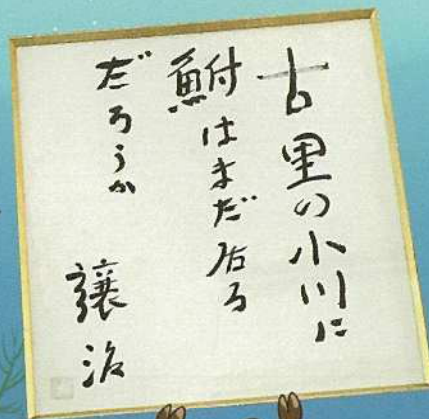
坪田譲治と岡山の田園風景……………	3
譲治ゆかりの岡山水路マップ……………	5
譲治ゆかりの岡山の川……………	7
譲治が描きたいきもの	
春	冬
夏	なまず・フナ……………
秋	かに……………
空想上のいきもの	かつば……………
川とともに暮らす譲治……………	16
譲治の描いたカエルと現代……………	17
ツボジョークイズ……………	19
譲治がくれたへいのちの感覚……………	21

「ツボジョークワールド探検隊」より

今年で活動五年目になる「ツボジョークワールド探検隊」は、坪田譲治が田園風景のなかで「フナを取ったり、カニあみをすいたり」した幼い日の自身を繰り返し映した文章に込めた思いを受け取り、岡山の豊かな川や水辺のいきものたちの命のきらめきに注目します。そこから現在の岡山の環境問題に視点を向け、譲治ゆかりの川といきものたちをいかに未来まで持続できるかを考えると、譲治の思いをつないでいきたいと望まれてなりません。

本冊子では、譲治の愛した明治期の岡山の川や水辺のいきものを、譲治文学の描写から季節の流れにそってご紹介します。譲治文学から、岡山の田園地帯をうるおす川の魅力や、水辺のいきものたちの輝くいのちに、触れていきたいと思えます。

川でうるおう岡山の田園風景を、
さあ、一緒に味わおう。



写真：小石 清



つばたじょうじ

坪田譲治と岡山の田園風景

1890年3月3日

岡山市島田（現・岡山市北区島田本町）生まれ

1890年～1908年

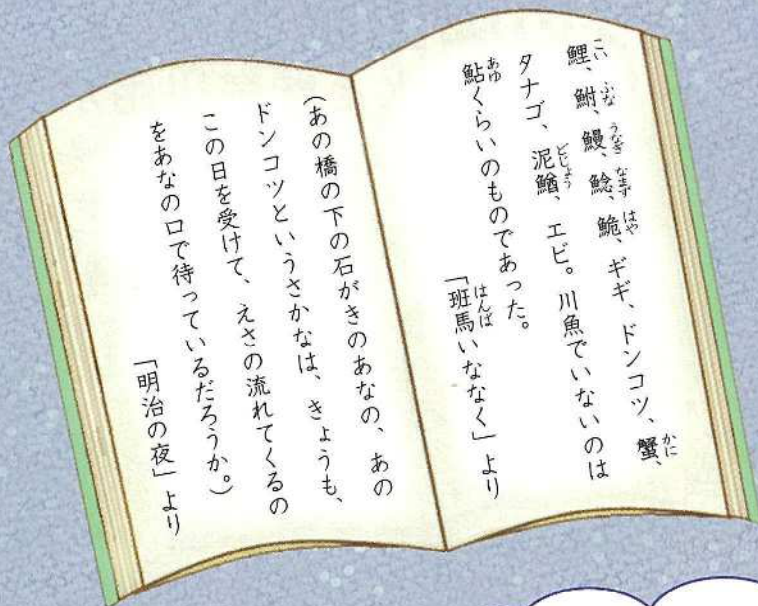
18歳で早稲田大学進学のための上京まで岡山で過ごす

1919～23年/1929～33年

岡山の坪田家家業・島田製織所の社員として岡山で過ごす

1982年7月7日

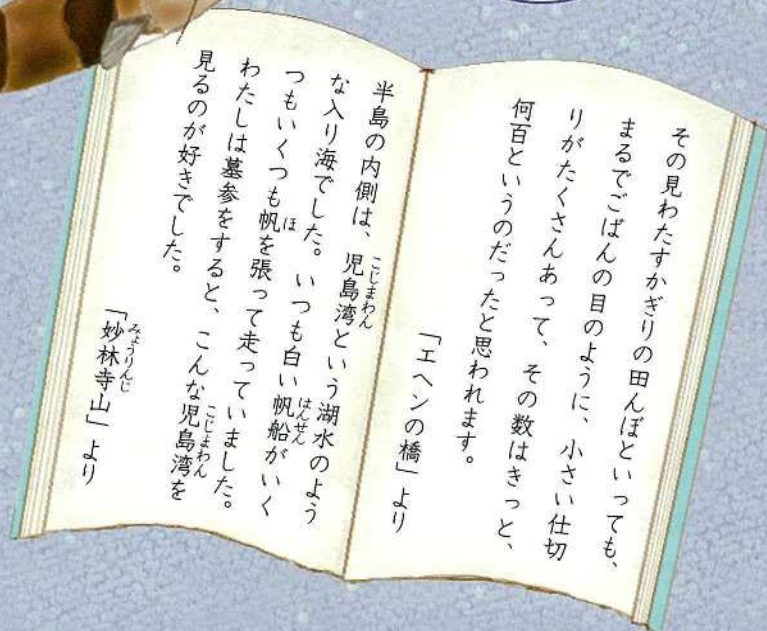
92歳で逝去



鯉、鮒、鰻、鮓、ギギ、ドンコツ、蟹、タナゴ、泥鰌、エビ。川魚でないのは、鮎くらいのものであった。
「班馬いなく」より

（あの橋の下、石がきのあな、あのドンコツというさかなは、きょうもこの日を受けて、えさの流れてくるのをあなの口で待っているだろうか。）
「明治の夜」より

身近にいた生き物たちや自然を友達のようにとても大切にしていたんだね！



その見わたすかぎりの田んぼといっても、まるでごぼんの目のように、小さい仕切りがたくさんあって、その数はきつと、何百というのだったと思われます。

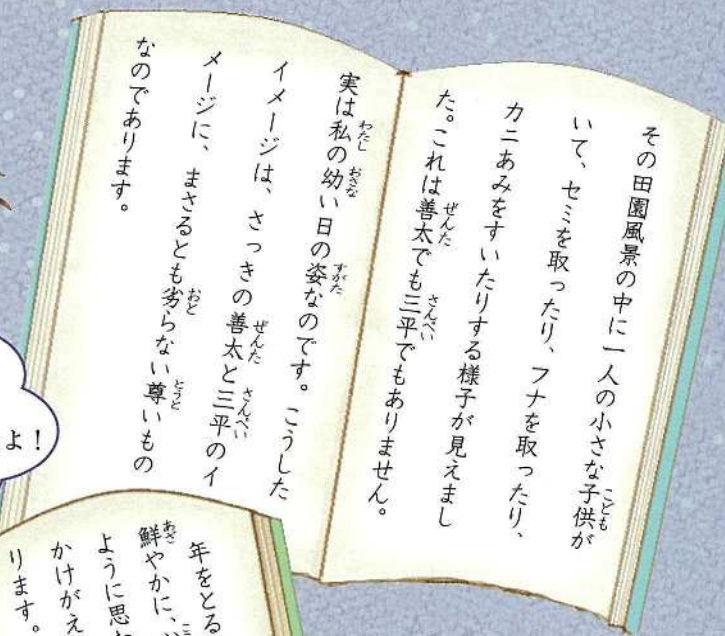
「ヘレンの橋」より

半島の内側は、児島湾という湖水のように入り海でした。いつも白い帆船がいくつもいくつも帆を張って走っていました。わたしは墓参をする、こんな児島湾を見るのが好きでした。

「妙林寺山」より

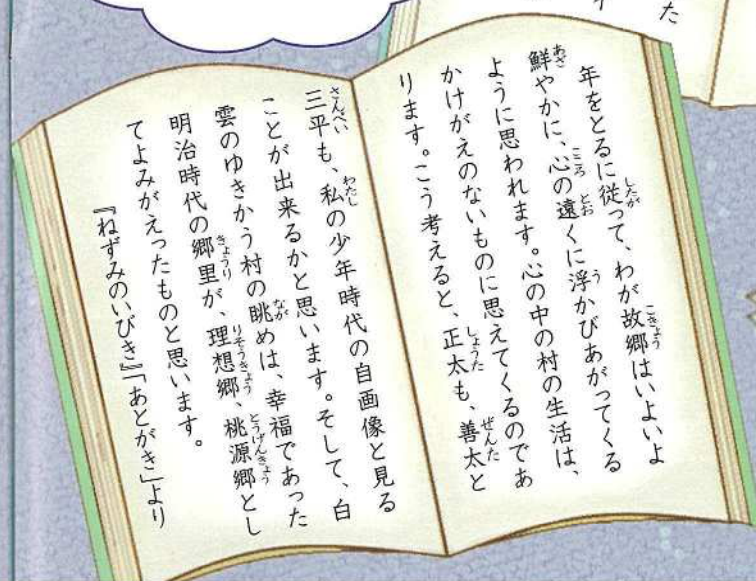


岡山から離れている間もふるさとを愛し続けていたよ！



その田園風景の中に一人の小さな子供がいて、セミを取ったり、フナを取ったり、カニあみをすいたりする様子が見えました。これは善太でも三平でもありません。

実は私の幼い日の姿なのです。こうしたイメージは、さっきの善太と三平のイメージに、まさるとも劣らない尊いものがあります。



年をとるに従って、わが故郷はいよいよ鮮やかに、心の遠くに浮かびあがってくるように思われます。心の中の村の生活は、かけがえのないものと思っています。正太も、善太とります。こう考えると、

三平も、私の少年時代の自画像と見ることも出来るかと思えます。そして、白雲のゆきかう村の眺めは、幸福であった明治時代の郷里が、理想郷桃源郷としてよみがえったものと思えます。

「ねずみのいびき」あとがき「より

じょうじ 譲治ゆかりの岡山水路マップ ～観音寺用水と能登川用水～

清き水の流れるふさと。
次のページから、
じまんの2つの川を紹介しよう。

笹ヶ瀬川

矢坂山

富山城跡

魚見山

大安寺

京山中

京山

池田動物園

国神社

妙林寺

京山公民館

烏城高

伊島小

県総合グラウンド

ノートルダム
清心女子大学

観音寺用水

奉還町商店街

岡山シティー
ミュージアム

石井小

石井幼稚園

石井中

三門小

岡西公民館

備前三門

関西高

西崎局

桃太郎線

大安寺

岡山西署

大野小

笹ヶ瀬ポンプ場

大安寺中等教育

野殿の池

北長瀬

山陽本線

山陽新幹線

野殿の池 (p.10) は、
じょうじ 譲治の
こども時代にはこのように存在しましたが、
現在は埋め立てられています。

能登川用水

坪田譲治生家跡

じょうじ 譲治のこども時代は、
大川と呼ばれていました。

平野のあちこちを流れる川は、
現代では「農業用水路」、
略して「用水」と呼ばれています。

岡山市役所

西川緑道公園

岡山中央局

表町商店街

柳川

岡山城

岡山県立図書館

岡山県庁

後楽園

西川原・就実

旭川

西川用水

鉄道の下の川

- 道
- 水路
- 路面電車
- 現在地下を流れている川
- ほたるスポット
2021年にほたるが
観測された場所



かんのんじ あさひがわ
 同じく観音寺用水も、旭川から取り入れられて
 いるんじゃ。坪田家のお墓のある妙林寺に
 墓参りに行ったり、京山に登りに行ったりした
 ときなんぞ、フナがいっぱいいたぞ。

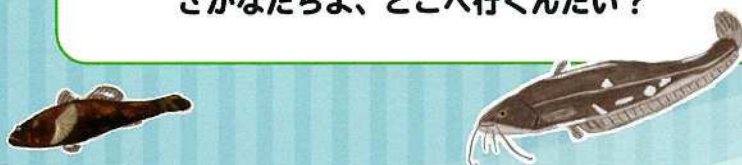


西川用水……1976年に用水の両岸が「西川緑道公園」として整備され、
 開園されました。

かんのんじ いこ
 観音寺用水……2013年度までに整備された「緑と水の道」は、憩いの場、
 暮らしの場、環境学習の場として利用されています。



さかなたちよ、どこへ行くんだい？



じょうじ

譲治ゆかりの岡山の川



あみ
 網の目のように引かれた岡山の水路は、
 わたしが生まれるずっと前の、
 えど
 江戸時代から整備されていたんじゃぞ。
 畑や田んぼのみどりと、水のきらめきは、
 いまでも目に見えるようじゃ。

岡山県の三つの大川というのは、東から
 いえ、吉井川・旭川・高梁川と、この
 三つです。みんな中国山脈から流れ出
 きて、瀬戸内海に流れこんでいました。
 そのとちゅうで、ほうぼうたくさん林
 や谷や田んぼや畑に水をそそいで、そ
 で、いねやむぎを育てました。
 その旭川がわたしたちの郡、それは御
 野郡といったのですが、そこにそそい
 何十からの村の畑と田んぼをうるおし
 した。それはもう網の目のように、あ
 ちの村、こちの村へその旭川の水はひ
 かれていました。わたしたちの、その大
 川というの、その旭川の水なんです。
 (「川干と胴じり網」)

地図を見てくれるかな。わたしの村、島田を
 流れる大川は、現在は能登川用水と呼ばれて、
 旭川から取り入れられた西川用水から
 つながっている用水路なんじゃ。



のどの 野殿の池 ひなまつりの遊び

現在の大野小学校から大安寺中等教育学校のあたりに、
のどのよ
むかしは「野殿の池」と呼ばれる三日月型の池がありました。



ひなまつりになると、わたしらこどもたちは、
ふね ふなあそ
舟で大川を下る舟遊びをしていたんじゃ。
のどの
大川から野殿の池まで1時間ほど下っていったなあ。

そういうところにくると、いままで流していた船をとめて、
みんなでその田んぼに上陸するのです。そしてその、
そのげんげの花むしろの上で、すもうをとるのでした。こ
ろんでもいたくないどころでなく、いいにおいのその花の
中を、ころころびまわるものもありました。

(子ども十二か月)



じょうじ 讓治が描きたいきもの ドンコツ



◀ 讓治の家の裏のエヘンの橋



岡山では、ドンコという魚のことをドンコツと
言うんじゃ。こどものころには、家の裏の
うら
エヘンの橋の下でドンコツを飼っていたなあ。



とにかく、すこしばかな
さかななんです。日がさ
しこんでいる石がきのあ
なに頭を出していて、一
日じゅうじつとしており
ます。その頭のところへ、
はりにつけたみみずをや
りますと、もうなんの見
さかいもなく、すぐばく
りと食いつきます。そこ
をさっとつりあげれば、
もう、なんのわけはあり
ません。はりの先でびん
びんはねてあがってくる
のです。(明治の夜)

じょうじ
魚やエビを食べる肉食で、讓治さんからはミミズをもらっていたよ。
水のきれいな川が好きなんだ。



フナ（鮒）



わたしはフナ釣りが好きでなあ。
大人になってからもよくフナを釣っていたんじゃ。

▶釣りをする讓治



◀讓治直筆の書



ふなつ 鮒釣りに執心していた間、
いつも心を離れなかった
空想は、鮒と化して池底
に遊びたいということであ
った。
……
私などはもう鮒と遊びた
い一方なのである。

（「愛魚雑筆」）

ぼくたちフナは強い魚で、全国どこの川でも生きられるんだ。
讓治さんは、岡山から出ても、フナを見るたびに、
岡山を思い出していたのかもしれないね。



なまず（鯰）

なまずとくると、これはもう気どつてい
るのです。水の中で、あの長いひげを右
に左にゆらゆらゆりながら、上へ下へと
泳いでいました。

（「川干と銅じり網」）

なまずがそこにおりさえすれば、かなら
ずえさのあまがえるにとびつきます。ガ
バツと、大きな水音がするのです。そこ
を、つetterるほうでも、
「そらきたっ。」
と、さおを立てて引きあげるわけです。

（「子ども十二月」）

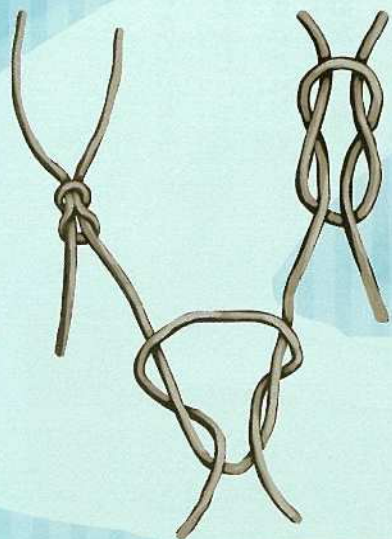
はり 針の先にアマガエルをつけて、なまずを釣る
「ポカン釣り」という釣り方があったんじゃ。
大川でこの釣りの上手なおじさんがいてな、
わたしもやってみたかったなあ。



おじさんがさおを動かすと、
水面でカエルが飛び跳ねているように見えるんだ。



布団に入っているふわふわのわたがあるじゃろ。
そのわたをねじり合わせるようにして糸をよるんじゃ。
そしてできた糸でカニ網^{あみ}を作るんじゃ。
夏から秋までかかったなあ。



▲かに網の編み目

それには、編み物針^{はり}のような針^{はり}でなくて、オグリという、糸をまきつけてある竹の針^{はり}が必要なのです。それに目板^はという、これまた一センチ幅^はくらいの竹の板がいるのです。それに、網^{あみ}の一目^{あみ}一目^{あみ}がまきつけられるわけです。だから深さ五十センチぐらいの小さな網^{あみ}でも、そうです、バケツぐらいの網^{あみ}でも、この網^{あみ}の目を何千と作らなくてはなりません。

〔木の葉がに〕



こどものころ、おじいさんがかに網^{あみ}を作ろうと言うので、わたしは大喜びで母に糸をよってもらったんじゃが、そのとき母が歌っていた「糸くり歌」^{わす}が忘れられなくてなあ。



秋 かに（蟹）



モクスガニ

木の葉がにの季節になるのは、ま、十月末か、十一月初めじゃ。とにかく、木の葉がちるころだからう。かにが、そのちる木の葉を見て、これはうかうかできんというわけで、雨がふると、水に乗って、川を下ってくる。

〔木の葉がに〕

木の葉がにと呼ばれていたのは、モクスガニというかにだったんだ。
海で産まれて、川へ上って成長して、
秋から冬にかけて産卵^{さんらん}のためにまた海へ向かうんだ。

秋になると、かに網^{あみ}を川に張って、川を下ってくる木の葉がにをとっていたんじゃ。
家の裏の川で^{ひとばん}一晩^{ひき}に200匹もとれたことがあるんじゃぞ。



川とともに暮らす讓治

ここまで一緒に見てきた川では、人々は舟で物を運んだり、食器を洗ったりしていたんじゃ。川は生活から切り離せないものじゃった。



▶釣りがおを持つ讓治



釣りをする人に、魚が憎いからと言う人は一人もあるまい。まず愛すればこそである。

〔愛魚雑筆〕

その川のほとりに、この柳の側に、私は一基の石碑を築きたい。「春は鮎、夏は鰻、秋に蟹など、孫と共にこの川この所にて漁る農夫いたりけり。明治三十五年の頃なり。孫その祖父をしのびて、これを建つ。」

〔故郷の記念碑〕

空想上のいきもの かっぱ

いい伝えによると、——というのは、わたしも、わたしの友だちも、みんな八十年もむかしに生まれたれんじゅうばかりですが、そのころは、川や池や沼など、海でない陸地で水のあるところには、もうどこでも、かっぱのいないところはなかったのです。

いや、そういつても見た人はないようですが、だれひとり、このかっぱがいるなんて、うそっぱちだなんかいうものは、ほんとにひとりもありませんでした。

〔「かっぱに出会った話」〕



▲鉄道の下川（能登川用水・岡山駅付近）

岡山の方で、かっぱのことを「ゴンゴ」と呼んでいたんじゃ。この鉄道の下の川に、ゴンゴがいたんじゃよ。



ダルマガエルの今



岡山市の大野学区の田んぼには、今では
ぜつめつきぐしゅ
絶滅危惧種に指定されたダルマガエルがいるよ。



じょうじ
譲治さんのこども時代には、
ダルマガエルもたくさんいたみたいだね。

大野学区では、ダルマガエルを
守ることができる田んぼに移動させるなど、
ダルマガエルを保護する活動が続けられているよ。



す
ダルマガエルが棲んでいる
田んぼで育てられたお米は
「大野ダルマの合唱」
というブランド米として
はんばい
販売されているよ。



▲藤澤農産より販売

じょうじ えが 譲治の描いたカエルと現代

では、善太はもう雨ガエルです。
ビワの木のための間にとまって、
コロコロ鳴いている雨ガエルです。
だが、何でそんなに、鳴いている
のでしょうか。ひとりでさびしいの
です。友だちがほしいのです。ビ
ワの木はあまり大きすぎるし、そ
の上の空はあまりに広すぎるし、
下の土の上には何がいるかわかり
ません。それに、自分はあまり小
さいのです。鳴かないでおれましょ
うか。と、あれ、三平がやって来
ました。三平もカエルです。幹を
そろそろとはって登って来ました。

(「二ひきのカエル」)



じょうじ えが ぜんた さんべい
譲治さんがよく作品に描くこどもに善太と三平がいるね。
2人がアマガエルごっこをしている描写があるなんて、
じょうじ びょうしゃ
譲治さんはカエルのことが好きだったみたいだね。

ぼくたちが岡山にいる主なカエルだよ。

じょうじ
譲治さんの作品には、アマガエルやガマガエルがよく登場するね。



ヒキガエル(ガマガエル)



ダルマガエル



トノサマガエル



アマガエル



じょうじ
讓治が大好きで、
大人になってからも
よく釣りをしていた
いきものは？

答えは
指示されたページを
読めばわかるぞ！

フナ
or
ザリガニ

答え：p. 12



アマガエルをエサにして
なまずを釣る釣り方の
名前は？

ポチャン釣り
or
ポカン釣り

答え：p. 11

ツボジョークイズ

クイズをしながら
ゴールを目指せ！



あさひがわ
旭川

現在の大野小学校から大安寺
中等教育学校のあたりに、
むかしあった池の名前は？

のどの
野殿の池
or
三日月池

答え：p. 10

ぜつめつきぐしゅ
絶滅危惧種に指定されていて、
大野学区で保護活動が続けられて
いるカエルは？

ヒキガエル
or
ダルマガエル

答え：p. 18

じょうじ
讓治の小学校時代、かっぱ
はどう呼ばれていた？

ゲンツドン
or
ゴongo

答え：p. 15



じょうじ
モクズガニを讓治はなんと
呼んでいた？

木の葉がに
or
落ち葉がに

答え：p. 13



じょうじ
讓治の書「古里の小川に
〇〇はまだ居るだろうか」
の〇〇に入ることは？

フナ(鮒)
or
カニ

答え：p. 1



童話「二ひきのカエル」で
善太と三平がしている遊びは？

オリンピックごっこ
or
アマガエルごっこ

答え：p. 17

岡山の水路は、いつ頃から整備
されていた？

江戸時代
or
大正時代

答え：p. 7

「ドンコツ」はある
さかなの岡山方言。
そのさかなの名前は？

ドンコ
or
ドジョウ

答え：p. 9



ささがせがわ
笹ヶ瀬川



/ 10

何問正解できたかな？

★お世話になった方々

坪田 理基男さん

坪田 眞紀さん

則武 啓子さん

大塚 利昭さん（日本野鳥の会・岡山近代史研究会会員）

友延 栄一さん（岡山の自然を守る会・岡山市教育委員会生涯学習課公民館振興室）

貸谷 康宏さん（株式会社ウエスコ・おかやま大野ダルマガエル保全プロジェクト）

村中 李衣先生（ノートルダム清心女子大学教授）

長原 しのぶ先生（ノートルダム清心女子大学教授）

近藤 友子先生（ノートルダム清心女子大学准教授）

池田 満之先生（ノートルダム清心女子大学非常勤講師・岡山ユネスコ協会会長）

岡山市教育委員会生涯学習課公民館振興室

岡山市立京山公民館

岡山市立岡西公民館

藤澤農産

古写真DB委員会

ノートルダム清心女子大学附属図書館「坪田譲治コレクション」

★「ツボジョーワールド探検隊」編集部

渡邊 聖奈

圓山 紗永

井上 美奈

田中 柚衣

鈴木 悠華

監修・山根 知子（ノートルダム清心女子大学教授）

出典 本文に記載した以外の譲治作品の引用：『坪田譲治全集』（新潮社）

写真 坪田譲治の古写真：提供者 坪田理基男さん・坪田眞紀さん

現代の写真：山根知子



みどりと水のみちへ ～譲治がくれた〈いのち〉の感覚～

発行日 2021年10月15日

発行者 ノートルダム清心女子大学日本語日本文学科 山根知子

岡山市北区伊福町2-16-9 電話（086）252-2695

印刷所 （有）ダイニ印刷

《岡山市「学生イノベーションチャレンジ推進事業」参加プロジェクト》

じょうじ

譲治がくれた〈いのち〉の感覚

「ツボジョーワールド探検隊」より

つばたじょうじ

坪田譲治作品に登場する水辺のいきものたちに焦点をあて、

じょうじ

譲治が見た明治時代の岡山の姿に触れてきました。

じょうじ

譲治のふるさとの自然の豊かさを感じていただけたならば幸いです。

じょうじ

譲治さんは

身近にいたいきものたちが
大好きだったんだね！

これからも岡山の水辺に
さかなたちが棲みつづけて
ほしいよね！

みんなの近くの田園風景は
どうかな？

さかなたちの世界が
楽しかったなあ！

